

かたの民報

議会版

2011年2月27日
NO. 1525

【発行】
日本共産党
日市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ
私部 1-1-1
☎ 892-0121
(内線 301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎ 893-6785



さかの 光雄
私部 1-38-23
☎ 893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎ 894-2835

議員定数削減(17名→15名)、 総務文教常任委員会で可決 日本共産党は反対

12月議会で継続審議となっていた議員定数の削減案について、2月16日、総務文教常任委員会で審議が行われ、賛成多数で可決されました。

12月議会で10人の議員が、議員定数を17名から15名に削減することを提案し、継続審査となっていました。2月16日、総務文教常任委員会で3回目の審議を行い、賛成多数で「定数2減」案が可決されました。

反対は日本共産党(坂野・血海)と栗原議員、賛成は公明党(三浦・友井)、市民ががやきクラブ(野口・坂本)、自民党(堀)でした。(古坂議員は委員長のため採決に加わらず)。

3月議会の本会議で可決されれば、9月の市会議員選挙から、「定数15」になります。



市民の声が 届きにくくなる

委員会の審議では、「なぜ2名減なのか根拠が説明されていない」「議員が減れば、委員会等での審議が不十分になる」「市民の多様な意見を反映しにくくなる」などの意見が出されました。

日本共産党は、①議員定数の削減は、市民の多様な意見を反映し、市政をチェックする議会の機能を弱めてしまふ、②「議員も身を削るべき」というならば、議員定数の削減でなく、議員報酬を引き下げるべき、③いま必要なことは定数削減でなく、市民に見える議会、開かれた議会へと、議会の活性化・改革を行い、議会の機能を高めることであると主張し、定数削減に反対しました。

4月から交野市、「子宮頸がん等3ワクチン接種費用の一部助成」、「妊婦健診助成額の増額」実施

●交野市のH23年度予算(案)では、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の3ワクチンの接種費用を一部助成する内容が含まれています。ワクチン接種の費用助成は、国の「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進交付金」に基づくもので、交野市が助成を行った額の2分の1を国が交付金として補助する事業です。枚方市では、自己負担なしの全額補助を実施しています。しかし交野市では、費用の一部を助成するとなっているため自己負担が必要です。3ワクチンの有効性は確認されており、また、市内女性団体からはワクチン接種への負担軽減を求める声が高まるなか、日本共産党は、国や交野市に対し助成を要望してきました。さらに、妊婦健診費用の総額が平均10万円かかるなか、安全安心な出産を支援するための妊婦健診助成額も増額予算となりました。

ワクチン接種自己負担額：(1回あたり)
子宮頸がん予防ワクチン接種 1,500円
ヒブワクチン接種 3,000円
小児用肺炎球菌ワクチン接種 3,000円

☆妊婦健診の助成回数は14回と同じですが、助成額は現行の35,000円から55,000円に増額となります。

助成総額55,000円の内容：
(1回目 16,000円)
(2回目～14回目 3,000円)

■交野市3ワクチン接種事業

ワクチン接種の種類	国基準接種費用単価	対象年齢	対象人数	接種回数	
				回数	回数
子宮頸がん予防ワクチン接種	15,939円	中1～高1	1,760	3回	
ヒブワクチン接種	8,852円	2ヶ月～5歳未満	3,216	生後2ヶ月～7ヶ月未満に開始	4回
				生後7ヶ月～12ヶ月未満に開始	3回
				1歳～5歳未満に開始	1回
小児用肺炎球菌ワクチン接種	11,267円	2ヶ月～5歳未満	3,216	生後2ヶ月～7ヶ月未満に開始	4回
				生後7ヶ月～12ヶ月未満に開始	3回
				1歳～2歳未満に開始	2回
				2歳～5歳未満に開始	1回